



Creating the Future season III

～ 未来をつくる ～

喜多方東高校
進路だより

第4号

2020.7.31

異例づくしの?! 1学期が終了

進路活動でも様々な試みが



新型コロナウイルスの影響は令和2年度を迎えても続き、新学期は2週間で休校、ゴールデンウィーク明けは分割登校とこれまでとは違った生活形態の2か月間でした。6月からやっと通常の授業が展開されました。しかし部活動の再開は更に1週間後。インターハイをはじめとする様々な運動部の大会や文化部の発表会・展覧会も中止されました。

進路講演会や保護者学習会、地元企業訪問など本校の進路行事も中止や縮小を余儀なくされ、進路指導部はこれらの対応に追われました。

3年生の進路に関しても、進学では今年度から変更された大学入試制度と新型コロナウイルスの影響による混乱で共通テストの日程や私立大学の入試内容の発表が遅れ、就職ではコロナ不況での新卒求人的大幅な減少が懸念されました。6月中旬、厚労省と文科省から就職試験開始日をこれまでの9月16日以降から10月16日以降へと1か月後倒しにするとの突如の発表があったことは、進路だより第3号に記載した通りです。例年通りの日程で準備を進めていたため、急遽日程を変更せざるを得ませんでした。

このように3年生の進路活動も新型コロナウイルスに翻弄され続けていますが、コロナ禍による生活様式の変化に合わせ様々な試みがなされるようになっていきます。上級学校のオープンキャンパスはリモートによるものや完全予約制での実施が大半であり、県外企業の応募前職場見学会もリモート実施が増えています。採用試験の実施形態も感染防止を考慮したものになると予想されます。困難な状況下とは言え、進路は限られた時間の中で決定しなければなりません。7月中旬から感染者が再び増加し続けて予断を許さない状況ですが、3年生の皆さんは、夏季休業中も進路志望達成のための取り組みを継続しましょう。



第2回進路希望調査実施——1、2年生



7月17日(金)、1、2年生対象に第2回進路希望調査を行いました。両学年とも4月の時より未定者の数が減少し、進路希望が明確になっていました。夏季休業中に希望する進路について調べてみましょう。また調べた上での疑問点などは3者面談の際に担任の先生に質問してみましょう。

就職ガイダンス実施——3年生

7月15日(水) ハローワーク主催就職ガイダンスを実施しました。これは就職活動準備支援の一環として計画されているもので、社会人としての心構えや面接についてなど就職試験対策が主の講座です。

今回は企業の待遇対応研修の講師もされている大原出版(株)の水野裕子先生が担当してくださいました。挨拶をする時の声の大きさやお辞儀をする際の手の位置など何故そうするのかという理由を明快に説明してから手本を見せてくださるため非常に説得力があり、就職希望の10名の皆さんもこの日一日ですっかり会得したようでした。



終了後、自信に満ちた態度で先生にお礼を述べていた皆さんの様子から充実したガイダンスだったことが伺えました。先生からも「大変熱心で感心しました。改善点を指摘すると即座に理解しきちんと直せるところも立派でした。」と高評価をいただきことができました。後は試験本番で実践あるのみです。



第2回進路ガイダンス——3年生

7月17日(金)会津学院塾長の佐瀬敏彦氏を講師にお迎えし「今年の夏に取り組むべきこと」という演題でご講演いただきました。

進路志望達成の天王山と言われる夏季休業をどう過ごしたらよいか、長年受験指導にあたってこられた先生ならではのアドバイスに3年生全員が真剣に耳を傾けていました。



厚い参考書や単語帳を少しずつ覚えるのではなく、薄い参考書や単語帳を最初から最後まで通して読む。とにかく覚えるまで何十回、何百回とひたすら繰り返すといった具体的ですぐに実行できるお話で、「大変参考になりました。早速やってみようと思います。」という感想多数でした。

